

北信濃里山通信 vol.25

2016年10月25日発行

巻頭言 「北信濃の生きもの調査を進めよう」

北信濃の里山を保全活用する会事務局 福本匡志

今年6月、オオルリシジミの生息地でパトロール・調査をしていたところ、林の縁の草地でサラサヤンマのみがなわばり飛翔している姿を目撃しました。飛翔中にホバリングしたところを狙って、撮影（右の写真）。

サラサヤンマは以前の里山通信でも紹介しましたが、黒地に黄～黄緑色の斑模様のあるきれいなトンボ（比較的小型のヤンマ）で、林の中の窪地にできた湿地で発生している様子。幼虫（ヤゴ）は湿地の浅い水たまりで生活しているようで、雪解け水が少なかった今年も姿を見せてくれて一安心でした。

サラサヤンマは、以前は確認された記録がきわめて少なく、2004年の長野県版レッドデータブックでは、絶滅危惧Ⅰ類（オオルリシジミと同様、絶滅の恐れが非常に高い種）に区分されていましたが、その後は調査が進み、県内各所で生息が確認され、絶滅の恐れが少なくなったことから2014年の改訂版で準絶滅危惧種へランクダウン。ある意味、喜ばしいことですが、絶滅危惧種を評価するには、その生息調査が大切であることがうかがえます。



オオルリシジミの生息地で見られたサラサヤンマ



ミズナラ林で見られるジョウザンミドリシジミ
金緑色の美しい翅を輝かせて梢を舞う。

生物の調査は環境評価のため、いろいろなところで行われていますが、今年の7月2日、信越トレイルクラブが主催した斑尾山～赤池間の「自然環境調査」に参加し、ブナやミズナラ林に特徴的なミドリシジミの仲間（ゼフィルス）が見られました。里山保全を進めるにあたっては、このような昆虫類の生息を記録しておくことが大切かと思えます。

北信濃は昆虫類の他、鳥類など動物、植物などの種類が豊富で、今後、当会としても里山の「生きもの調査」を進めていきたいと思えますので協力をお願いします。

お知らせ

・「2016 カヤ刈りワーキング in 戸狩」

本年も飯山市戸狩地区のオオルリシジミ放蝶地でスキの採取「カヤ刈り」を行います。

昨年に採取したカヤは、冬期間、飯山市静間の荒船農村公園の炭焼き施設に保管、今年4月にかやぶき屋根業者の「小谷屋根」に買い取っていただきました。金額は75,900円になり、去年の2倍超！

お金は当会の会計に入金し、活動資金に充てたいと思いますが、結構な額になりましたので使い途など御意見がありましたらお聞かせいただければと思います。

買い取られたカヤは、県内の神社や古民家など文化財の修復に使われたようですが、まだまだ需要があり、多くのカヤを必要としているようです。



昨年採取したカヤの搬出、引き取り。
トラック山積み！（今年4月29日）

本年の「カヤ刈り」は以下のとおり行います。放蝶地のほか、オオルリシジミ生息地のカヤ刈りと合わせて昨年並みの量は確保したいと思います。作業には刈り取りの他、選別や結束・搬入など人手がかかりますので、多くの方に御参加いただきますようお願いいたします。会員のみならず、一般の方も歓迎です。参加者には慰労として、「戸狩温泉利用券」を進呈します。また、当日は「小谷屋根」の職人さんにもお越しいただき、刈り取り作業の指導を行っていただく予定です。

日時及び集合場所（作業場所）

日時 平成28年11月12日（土）9:30～15:00（9:00～集合・受付）
集合場所 戸狩温泉「暁の湯」駐車場（9:00集合、その後作業場所に移動）
作業場所 飯山市戸狩スキー場・とんだいらグレンデ（グレンデ脇のススキ自生地で作業）

日程

9:00 集合（「暁の湯」駐車場）、受付
9:30 開会・日程説明など
9:35 カヤとその利用についてのおはなし
9:45 作業説明、作業班分け（刈り取り、選別、結束、運び出しなど分担）
9:50 午前作業開始
12:00 午前作業終了、昼食
13:00 午後作業開始
14:50 午後作業終了、収穫したカヤの講評など
15:00 閉会、カヤを飯山市静間・荒船農村公園へ搬入。

参加申し込み

飯山市ふるさと館TEL:0269-67-2030（担当：小澤、月曜日は休館日）へ、11月9日（水）までに連絡してください。

その他

作業に適した靴・服装で参加してください。刈り取りは鎌による手刈りですが、慣れない方には選別や結束などを行っていただきます。カヤ運搬のため、軽トラックで参加いただくとありがたいです。

昼食は各自で用意してください。副食に「豚汁」を用意します。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。

・オオルリシジミ生息地の環境整備・カヤ刈りと野鳥調査観察会

オオルリシジミ生息地の環境整備・カヤ刈りと野鳥の調査観察会を以下のとおり行います。
環境整備は例年のとおりオオルリシジミが生息できる草原環境を維持するため灌木や幼木類の伐採を行います。ススキ（カヤ）についても、枯葉が堆積すると食草クララの発芽、生育に影響しそうな様子ですので、その活用を兼ねてカヤ刈りも併せて実施します。

野鳥調査観察会はオオルリシジミ生息地での「生きもの調査」の一環として、当会会員で鳥類専門家の丸山和麻さんに指導いただきながら野鳥類の調査・観察を行いますので関心のある方は是非参加してください。なお、野鳥は季節により見られる種類も変わってきますので、今後も定期的に調査観察を行う予定です。

日時 平成28年11月20日（日）環境整備・カヤ刈り…9:00～12:00
野鳥調査観察会…13:00～15:00

集合場所 環境整備・カヤ刈りは8:30、野鳥調査観察会は12:30に飯山市民館前集合とします。途中から参加される場合は、現地へ直接お越しください。

作業内容 刈り払いによる歩道の整備、灌木類の伐採作業、カヤの採取・・・など
生息する野鳥類の確認調査と観察

その他 昼食は各自で用意いただき、作業に適した服装でお越しください。
野鳥観察会では双眼鏡、カメラなど持参。天候不良の場合は、中止とします。

活動報告など

・オオルリシジミの生息域外保全

飯山産オオルリシジミの生息域外保全として、4月24日に戸狩地区で蛹を放飼する作業を実施。赤玉土と蛹（合計60頭）が入った小型植木鉢を土中へ埋め込み、看板を設置しました。今年は雪が少なく、例年よりも早い時期での実施で、近くの林道では数多くのギフチョウを観察することができました。

その後は、5月21日に成虫1頭の発生を確認。

5月28日は「オオルリシジミ親子観察会」が開催され、参加者29名観察で平均5.6頭のオオルリシジミを確認し、クララに産卵している姿も見られました。観察個体数も昨年並みで安定しているようで、放蝶以外の自然発生個体もいることがうかがえます。

観察会では、クララの植栽作業を併せて実施。また、草原性の蝶で希少種のミヤマチャバナセセリが見られました。なお、7月3日には会員の花崎さんにより幼虫が確認されています。



看板の設置作業



オオルリシジミの産卵



クララの植栽作業



ミヤマチャバナセセリ

・オオルリシジミの生息地での活動

5月12日に会員の三井さん、坪井さん、事務局の小澤さんで生息地のロープ設置。5月21日には会員が集まり灌木の伐採、観察道の草刈りや看板設置などの環境整備を実施しました。今年は春の残雪が極端に少なく、5月の平均気温が記録的に高かったこともあり、食草クララの生育が非常に進んでいる状況でした。翌日の5月22日に会員の青木さんにより成虫1頭が観察（本年初見）され、例年よりも早い発生となりました。

続いて5月28日に成虫2頭観察、発生は低調で、その後の観察会で見られるかどうか心配されました。

6月5日、本年度で5回目となった親子観察会では、参加者17名で平均3.7頭の成虫を確認（最高は6頭）。

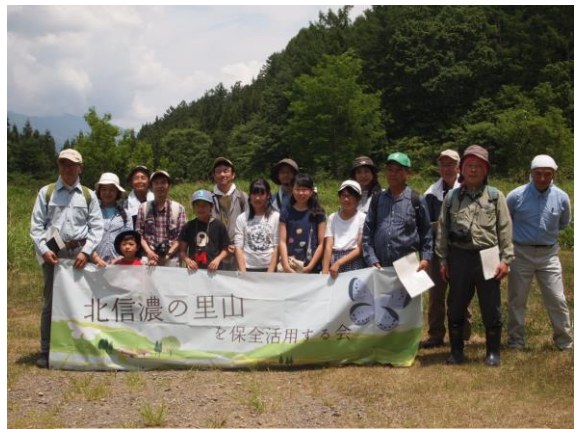
参加者全ての方がオオルリシジミを見ることができましたが、発生もピークを過ぎ、例年よりも少ない観察数でした。観察会では、参加した子供たちが桑の実採りに夢中、蝶と併せて里山の恵みを満喫したようでした。

6月11日に飛び古した♀成虫1頭を目撃し、終見となりました。例年は6月末ごろまで見られますが発生時期が早く推移、発生量も少なかったので来年度以降の動向が気になるところです

なお、6月26日はオオルリシジミ中齢幼虫2頭、7月2日は終齢幼虫4頭を確認しました。無事に蛹となって冬を越し、来年、蝶の姿を見せてもらいたいです。



観察会で桑の実採りに夢中の子供たち



観察会集合写真

編集後記

秋も深まり、本年も終わりが近づく中、会として満足できる活動ができたか反省するこの頃。

オオルリシジミの観察会では野鳥類の観察を要望する声も聞かれましたので、11月のオオルリシジミ生息地の環境整備と合わせ野鳥の調査観察会を計画しました。人手が足りない中で、今後、生息地をどのように保全していくかを地元の方々とも一緒になって検討する必要がありますが、野鳥の他にもいろいろな「生きもの」を調査・記録することで北信濃の里山の自然、草原環境を評価できればと思います。

カヤ刈りで得た収入もまとまった額となり、今後、資金的にも余裕が見込めますので来年度に向けて充実した活動ができればと考えています。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1434番地1
飯山市ふるさと館内
TEL/FAX：0269-67-2030
E-mail：furusato@city.iiyama.nagano.jp
年会費：1,000円（郵便振替：00540-8-101643）
編集者・事務局長：福本匡志